

令和5年度「公共」シラバス

科目	公共	単位数	2単位	学科・学年	園芸科・普通科1年
使用教科書	高等学校 新公共(第一学習社)			副教材等	新公共ノート (第一学習社)

学習の 到達目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
-------------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

月	学習項目	■学習内容(ねらい)・評価の観点	a	b	c	評価方法
4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ■社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出し、いこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 ①人間と社会のあり方についての見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ■古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査

月	学習項目	■学習内容(ねらい) ・評価の観点	a	b	c	評価方法	
5		<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、上に示す考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 幸福、正義、公正などに着目して考えている。 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○				
	第3章 公共的な空間における基本的原理 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 幸福、正義、公正などに着目して考えている。 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 公共的な空間における基本的原理について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査 	
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち						
	第1章 法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> 憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 					
6	主題1 法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利	<ul style="list-style-type: none"> 法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査 	
	主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任	<ul style="list-style-type: none"> 契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査 	

月	学習項目	■学習内容(ねらい) ・評価の観点	a	b	c	評価方法
7	主題3 司法参加の意義 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加	<p>定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 <p>■個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・政治分野の国会・内閣のしくみとも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	第2章 政治的な主体となる私たち	<p>■よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。</p>				
9	主題4 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉	<p>■民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題	<p>■主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和	<p>■日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・日本の安全保障と防衛について、現代の諸課題を主体的に 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査

月	学習項目	■学習内容(ねらい) ・評価の観点	a	b	c	評価方法
10	主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割	解決しようとしている。 ■国際平和を実現するために必要な日本の役割を理解する。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・中学校までに学んだ知識や、地理・歴史など他教科で学んだ知識もふまえ、経済分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○			・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	第3章 経済的な主体となる私たち	■公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。				
	主題8 雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題	■少子高齢化による労働力不足が問題となるなか、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。 ・雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・法分野の基本的な権利とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
11	主題9 社会の変化と職業観 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業	■グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。 ・社会の変化と職業観に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・歴史や情報など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	12	主題10 市場経済の機能と限界 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉	■公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。 ・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・歴史など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に	○	○	○

月	学習項目	■学習内容(ねらい) ・評価の観点	a	b	c	評価方法
		解決しようとしている。				
1	主題 11 金融のはたらき ①金融の意義と役割 ②金融のいま	■経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのか理解する。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	主題 12 財政の役割と社会保障 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障	■少子高齢化が進むなかで、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。 ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・少子高齢化・人口減少などの社会背景をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して考えている。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	主題 13 経済のグローバル化 ①国際分業と貿易 ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き ④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合 ⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題 ⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから	■経済がグローバル化するなかで、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・地理など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
2						
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題	■持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。 ・これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 ・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 ・これまでの学習を関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・定期考査

令和5年度 地理総合 シラバス

沖縄県立久米島高等学校

科目	地理総合	単位	2	対象	2年 園芸科・普通科
目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
教科書・ 教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書：『高等学校 新地理総合』帝国書院 ・補助教材：『新詳高等地図』帝国書院 				
内容	第1部 地図でとらえる現代世界(①地図と地理情報システム ②結び付きを深める現代世界) 第2部 国際理解と国際協力(①生活文化の多様性と国際理解 ②地球的課題と国際協力) 第3部 持続可能な地域づくりと私たち(①自然環境と防災 ②生活圏の調査と地域の展望)				
評価の方法	以下の項目を総合的に判断して評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・単元テスト ・勤怠状況、授業中の態度 ・板書ノート、課題プリント等の提出状況 ・授業中の発表など、意欲的に取り組む姿勢 				

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養われている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深められている。

令和5年度 歴史総合 シラバス

沖縄県立久米島高等学校

科目	歴史総合	単位	2	対象	2年 園芸科・普通科
目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
教科書・教材等	・教科書：『私たちの歴史 日本から世界へ』山川出版社				
内容	第1部 近代化と私たち 第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第3部 グローバル化と私たち				
評価の方法	以下の項目を総合的に判断して評価する。 ・定期考査（中間・期末・学年末） ・勤怠状況、授業中の態度 ・板書ノート、課題プリント等の提出状況 ・授業中の発表など、意欲的に取り組む姿勢				

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身に付いている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が養われている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが深められている。

令和5年度 郷土の歴史 シラバス

沖縄県立久米島高等学校

科目	郷土の歴史	単位	2	対象	普通科 2年生(A 選択)
目標	社会的事象における郷土の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のように育成することを目指す。				
教材等 教科書・	<ul style="list-style-type: none"> 教材：『新課程・高等学校歴史教科書 歴史総合と沖縄～探究心を育てるためのもう一つの眼差し～』 沖縄歴史教育研究会 				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球・沖縄の歴史 ・琉球芸能 ・琉球・沖縄の伝統文化 ・琉球・沖縄の伝統行事 など 				
評価の方法	<p>以下の項目を総合的に判断して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期考査 ・勤怠状況、授業中の態度 ・板書ノート、課題プリント等の提出状況 ・授業中の発表など、意欲的に取り組む姿勢 				

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
郷土の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身に付けられている。	郷土の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が養われている。	郷土の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民としての自覚、我が国と郷土の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが深められている。

令和5年度 現代社会 シラバス

科目名	現代社会	単位数	3	学年	3	必修・選択	必修
使用教科書	「高等学校 改訂版 新現代社会」(第一学習社)			担当クラス	3年1組(園芸科)		

学習の到達目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
評価のポイント	①定期考査・単元テスト ②ファイルの提出 ③レポート、宿題などの提出物 ④授業への取組状況 ⑤出席状況等により総合的に評価

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用 of 技能	d. 知識・理解
現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的現象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的現象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	4 5 月	第1編 私たちの生きる社会 私たちの生きる地球 1. 環境と私たちの生活 ①地球環境のいま(1) ②地球環境のいま(2) ③私たちの地球を守るために	<ul style="list-style-type: none"> これから学習していくさまざまな課題が世界には存在していることを理解する。 地球規模の環境問題にはどのようなものがあるかを、書籍やインターネットなどを用いて調べ、理解する。 さまざまな環境問題と人間の活動とのかかわりについて、教科書掲載の写真や地図を使いながら理解する。 環境問題への国際的取り組みを踏まえ、自然と共生するよりよい環境を次の世代に引き継ぐためにはどうしたらよいか考える。 地球の温暖化対策や森林破壊への考察を通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査
		2. 資源・エネルギー問題と私たちの生活 ①限りある資源 ②資源問題の解決をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 資源の有限性について理解を深め、原子力発電の問題を例に、資源・エネルギー問題について多角的に考える。 資源・エネルギー問題について、書籍やインターネットなどを用いて調べ、理解する。 エネルギー政策の見直しとともに新エネルギーの現状について理解し、省エネルギーと循環型社会について考える。 資源・エネルギー問題の考察を通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査
		3. 科学技術の発達と私たちの生命 ①科学技術の発達と生命 ②生命倫理をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発達が社会や生活をどのように変えてきたか考える。 医療の発達により、人類がはじめて直面する問題が生じていることを、具体的事例をあげて考える。 生命倫理をめぐる問題について、どのようなものがあるか新聞やインターネットなどで調べ、それらについて現状と課題とまとめる。 生命にかかわる課題の考察を通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解させる。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査

		4. 高度情報社会と私たちの生活 ①情報の高度化の進展 ②高度情報社会の課題	<ul style="list-style-type: none"> 高度情報社会とは何かについて理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について、新聞やインターネットなどを使って調べ、理解する。 高度情報社会で生きていくために必要な知識を身につけ課題についてどう取り組みればよいか考えることを通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査
1	5	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 私たちの一日と青年期 ①青年期とは ②青年期を充実させるために ③伝統や文化とのかかわり ④祭りや年中行事 ⑤社会とのかかわり ⑥私たちの生きがい	<ul style="list-style-type: none"> 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか考え、青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか考える。 一人前の人間として自立するためには何をしたらよいか考える。 伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察する。 祭りや年中行事が、日常生活に与える影響について考察する。 職業のもつ意味、社会に参加することの意義について書籍やインターネットで調べ、一人ひとりが社会づくりに参画していく必要があることを理解する。 生涯にわたって学習していくことの意義を考える。 	○	○		○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査
	6	第2章 個人の尊重と法の支配 私たちの一生と法 ①個人と国家 ②法の支配 ③基本的人権の保障 ④世界の政治体制	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 基本的人権が保障されるにいたった経緯を、さまざまな情報手段で資料を収集し、具体的事例をあげて考察し、理解する。 世界のおもな政治体制について教科書の図などを使って理解し、真の民主政治の実現と関連させて考察する。 	○	○		○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査
	6	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 私たちの町と政治 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と日本の安全保障 ③冷戦終結後の防衛問題 ④平等に生きる権利 ⑤自由に生きる権利 ⑥豊かに生きる権利 ⑦新しい人権 ⑧基本的人権と公共の福祉	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 平和主義をめぐる、どのような動きがあったのかを理解する。また、自衛隊をめぐる問題について理解する。 日米安保体制はどのような背景から生まれ、どう変化してきたのか理解する。 身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について調べ、その解決策を考える。 社会権が私たちの生活をどのように変えたかを考える。また、新しい人権にはどのようなものがあるか理解する。 基本的人権と公共の福祉の関係について理解し、社会における望ましい解決策を、新聞などさまざまな情報手段を活用して調べ、話し合う。 	○	○		○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査
	7	⑨国会の運営と権限 ⑩内閣と行政の民主化 ⑪裁判所と人権保障 ⑫地方自治と住民の福祉 ⑬選挙制度の現状と課題 ⑭世論の形成と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 議会制民主主義とはどのようなものか、国権の最高機関である国会について理解する。 議院内閣制のしくみ、内閣の組織と権限について理解し、行政の民主化のために何が必要か考える。 裁判所のパンフレットなどを入手して裁判員制度を含む公正な裁判のための制度について理解する。また、憲法を守るための裁判所の権限について理解する。 法と道徳の違いについて考え、お互いが幸福な生活を送るために必要な法について話し合う。 地方自治の意味と地方自治の発展のための課題について自分自身の問題として具体的に考える。 国会議員の選挙制度はどのようなしくみか、また、どのような課題があるのかを理解する。 国民が政治に参加する方法にはどのようなものがあるかさまざまな手段を使って調べ、住民にとって生活しやすい政治のために必要な行動を話し合う。 	○	○		○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 単元テスト 定期考査

2	9	第4章 国際政治の動向と日本の役割 国際政治の動向と私たちができること ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割と課題 ③第二次世界大戦後の国際社会 ④冷戦終結後の国際社会 ⑤核兵器の廃絶と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家とはどのようなものか、国際社会における国際法の役割と限界について理解する。 ・国連の成立、役割と課題について理解する。 ・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。 ・核兵器を廃絶するためにどのような取り組みがおこなわれているか、また、国際平和のために何をしなければならぬか、さまざまな情報手段を活用して調べ、まとめる。 ・核兵器の問題についての知識を身につけ、それを廃絶するために何をしなければならぬかを理解する。 	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・単元テスト ・定期考査 	
2	10	⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦国境と領土問題 ⑧日本の役割と私たちの生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・民族や宗教の対立による紛争にはどのようなものがあるか、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。 ・国境と領土問題や日本の領土問題について、教科書の写真・地図を使用して理解する。 ・日本の外交の基本方針を理解し、アジアの一員としての日本の役割について考える。 ・国際社会における日本の役割、国際社会の一員として何をすべきか考える。 	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・単元テスト ・定期考査 	
	10	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 私たちの町と経済 ①経済と私たちの生活 ②経済体制の変容 ③現代の企業 ④市場のしくみ ⑤国民所得の私たちの生活 ⑥景気変動と物価の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と密接にかかわる経済の基本的なしくみを理解し、資本主義経済と社会主義経済の特徴を理解する。 ・企業の活動内容、企業の負っている社会的責任について理解し、株式会社の特徴についてまとめる。 ・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・国民所得について、教科書に掲載されている図版を適切に使用し、理解する。 ・景気変動について理解し、経済成長は生活にどのような変化を与えるかを、具体的事例をあげて考える。 	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・単元テスト ・定期考査 	
	11	⑦財政のしくみと税金 ⑧金融機関のはたらき ⑨戦後日本経済のあゆみ ⑩日本経済の現状と展望 ⑪技術革新の進展と産業構造の変化 ⑫中小企業の現状と役割 ⑬食の安全とこれからの日本の農業	<ul style="list-style-type: none"> ・政府はどのような経済的役割をもっているかを理解する。 ・財政にはどのような機能と役割が求められているか、日本の財政の課題は何かを理解する。 ・金融機関の果たしている役割、中央銀行の金融政策について理解する。 ・第二次世界大戦終結から現在まで、日本の経済発展のあゆみについて年表を使って理解し、現在の日本経済の課題と新たな取り組みについて考える。 ・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、新聞やインターネットを活用して身近な問題と関連させて考察する。 ・中小企業の現状と役割について理解する。 ・日本の農業政策の推移を理解し、これからの日本の農業、食料政策などの問題について考える。 	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・単元テスト ・定期考査
	12	⑭雇用と労働問題 ⑮労働環境の整備 ⑯公害の防止から環境保全へ ⑰消費者問題と消費者主権 ⑱社会保障と福祉社会 ⑲これからの社会保障	<ul style="list-style-type: none"> ・労働運動の展開と労働基本権について理解し、近年の雇用事情の変化について考える。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・公害の原因と、それに対する国・企業の責任について理解し、公害を防止するためにはどうすべきか考える。 ・消費者は契約についてどのような自覚が必要かを考え、消費者問題に対する企業の責任や国の対策について理解する。 ・日本の社会保障制度の特徴、少子高齢社会の課題について理解する。 ・消費者問題、日本の社会保障について、さまざまな情報手段を活用して情報を収集し、調査した内容をまとめて話し合うなど、適切に表現する。 	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・単元テスト ・定期考査

3	1	<p>第6章 国際経済の動向と日本の役割 国際経済の動向と私たちにできること</p> <p>①国際分業と貿易 ②国際経済体制のあゆみ ③国際収支と為替相場 ④国際経済の動向 ⑤進む地域的経済統合 ⑥発展途上国の経済と南北問題 ⑦国際社会のこれから</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自由貿易と保護貿易の違いについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割について理解する。 自由貿易推進のために国際的な協調体制がとられてきた経緯を理解し、国際収支の変化、為替相場の変動が経済に及ぼす影響について理解する。 貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考え、身近な事例をもとにレポートを作成するなど、適切に表現する。 日本の貿易やアメリカ、アジアなどの貿易について理解し、貿易の拡大とそれにともなう貿易摩擦について、具体的事例をあげて考察する。 国際経済機構や地域的経済統合にはどのようなものがあるか理解する。 南北問題の原因、発展途上国のかかえている問題について理解し、南北問題解決のために日本は何をすべきか考える。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 発表 単元テスト 定期考査
3	2	<p>第7章 民主社会に生きる倫理 私たちの悩みと倫理</p> <p>①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的な考え方 ③近代の西洋社会に見られる考え方 ④近代市民社会から大衆社会へ ⑤他者とともに生きる ⑥豊かな社会の実現に向けて</p> <p>第3編 ともに生きる社会をめざして ケーススタディ</p> <p>①社会保障と消費税 ②震災から復興への道のり ③人口問題と私たちの未来</p>	<ul style="list-style-type: none"> 哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。 日本の伝統意識を理解し、生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について、具体的事例をあげて考察する。 人間の尊厳や科学的なものの考え方、民主的社會を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため、図版や原典資料を適切に使用する。 平等な社会の実現には、偏見を取りのぞき、主体的に努力することが求められていることを理解する。 差別を生み出す偏見について考え、それを克服して、ともに生きるために私たちは何をすべきか、自分自身の問題として考える。 教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、政治課題としてよく取り上げられる消費税について考えたり、震災からの復興について調べたり、人口問題を通して私たちの未来を考察したりする。 調べた内容をまとめて発表するなど、適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 ノート提出 発表 単元テスト 定期考査

令和5年度 シラバス「政治・経済」

教科	公民	単位数	2	履修年次	3年普通科	教科書「高等学校 新政治・経済」(第一学習社)
----	----	-----	---	------	-------	-------------------------

学習の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
評価のポイント	①定期考査・単元テスト ②ノート、プリントの取組状況 ③レポート、宿題などの提出物 ④出席状況等により総合的に評価

評価の観点

a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用 of 技能	d. 知識・理解
現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的現象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的現象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本 原理と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と世界の政治体制	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら、法の意義について理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、人権保障の国際的な広がりについて考察する。 ・民主主義の発展について理解するとともに、各国の政治体制について諸資料を利用して調査する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト
	5	④日本国憲法の基本 原理 ⑤平和主義と自衛隊 ⑥基本的人権の保障と 新しい人権 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法 制度	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立過程を把握しながら、日本国憲法の三大原理について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し、それぞれの憲法の本質について理解する。 ・天皇の地位と役割について、国民主権と関連させて理解する。 ・日本国憲法をめぐる論点について関心を高める。 ・個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について把握しながら、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。 ・自由権や社会権、参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を把握する。 ・人権に関する判例を活用しながら、権利と義務との関係や、「公共の福祉」の概念について理解する。 ・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解する。 ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。 ・二院制の意義や法律の制定過程、衆議院の優越など、国会に関する基本的事項について把握しながら、国会の課題についても関心を高める。 	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	6	⑩地方自治制度と住民の権利 ⑪政党政治と選挙制度 ⑫民主政治における世論の役割	<ul style="list-style-type: none"> 現代の福祉国家の下では、国家機能が複雑化・大規模化して、行政府の役割が増大したことを理解する。 裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに、刑罰の意義や犯罪被害者の救済、犯罪者の更生について関心を高める。 地方自治の本旨を把握しながら、地方分権と住民の権利について理解し、国と地方の関係を考察する。 地方財政の現状と地方自治の課題について関心を深め、報道資料などから自分の住んでいる地域の実情を調査する。 日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。 政党政治や選挙、国民の政治意識や政治行動の特徴などを理解しながら、政治への関心を高める。 選挙結果や投票率の分析・動向などを、さまざまな情報手段を活用して調査し、主権者としての参政のあり方について考察する。 マス・メディアの役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて理解する。 特定の政治的志向をもたない人々の増大や、政治的無関心の広がりについて考察する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト
	7	第2章 現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の組織と役割 ③国際政治の動向 ④国際紛争と難民問題 ⑤国際平和と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の成立過程を把握しながら、実際には国家間でさまざまな格差があることを理解する。 国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解する。 グローバル化の進展により、国際社会ではNPOや多国籍企業など国家以外の機関や組織が活動していることを理解する。 国際連盟と国際連合の違いを把握しながら、国際連合の役割、国際連合が抱えている課題について理解する。 冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのかを理解する。 民族紛争を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに、国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。 国際平和に関する問題について、メディアを利用して調査し、国際平和のために日本が貢献できることについて、多角的な視点で考察する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査
2	9	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 ①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代経済の特質について理解する。 家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのかを理解する。 株式会社とはどのようなものか、所有と経営の両面から理解するとともに、企業の社会的責任について関心を高める。 市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。 国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 単元テスト 提出課題
	10	⑤財政のしくみとはたらき ⑥金融のしくみとはたらき ⑦物価の動き ⑧日本経済の歩み	<ul style="list-style-type: none"> 財政の基本的なしくみや役割、租税の意義について理解しながら、その用途について関心を高める。 日本の財政の現状について、報道資料などから調査し、公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。 金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 人々の生活が豊かになる一方で、公害などの社会問題が発生したことを認識する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	11	⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題	<ul style="list-style-type: none"> 大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。 日本の農業が直面している課題について理解する。 消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度について、諸資料を利用して調査する。 クレジットやローンなどが日常生活で果たしている役割と、多重債務問題について理解する。 情報化が政治・経済・国民生活に及ぼす影響や、高度情報社会の課題について理解する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 単元テスト 提出課題
	12	⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> 労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。 メディアを利用して、若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で調査する。 日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。 すべての人が社会に参画するための方法を、諸資料を利用して調査する。 化石燃料・原子力発電・新エネルギーのそれぞれの違いとメリット・デメリットを理解する。 深刻化している地球規模的環境問題に関心をもち、どのように乗りこえるべきか考察する。 	○	○	○	○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査
3	1	第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③国際経済の諸問題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 国際収支の基本的な構成を把握しながら、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 グローバリゼーションにともなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、関心を高める。 地域的経済統合やFTA・EPAについて関心をもち、諸資料を利用して具体的に考察する。 先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト 定期考査
	2	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 [選択] ①少子高齢社会と社会保障 ②地域社会の変貌と住民生活 ③雇用と労働をめぐる問題 ④産業構造の変化と中小企業 ⑤農業と食料問題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題 [選択] ①地球環境と資源・エネルギー問題 ②国際経済格差の是正と国際協力 ③人種・民族問題と地域紛争 ④国際社会における日本の立場と役割	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度(視点)から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を考える。 第1編・第2編の学習の成果の上に立って、現代社会の諸課題について探究し、さまざまなメディアや聞き取りなどによって調査する。 調査結果をもとに、話しあい・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。 	○	○		○	授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト

令和5年度「倫理」シラバス

科目	倫理	単位数	2単位	学科・学年	普通科3年
使用教科書	「高等学校 改訂版 倫理」(第一学習社)		副教材等	「倫理ノート」(第一学習社)	

学習の到達目標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としてのあり方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身につけ、人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するように活用し、学び方を身につける。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関わる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	4	1章 青年期の課題と自己形成 ①よく生きることを求めて ②青年期の課題 1-青年期とは何か 2-青年期の思考と感情 3-青年期の人間関係 4-青年期の自己形成	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質とは何かを理解する。 自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。 青年期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。 高校生の意識調査の結果を分析し、そこに現れている現代の高校生の特徴を読み取る。 自分自身の心に起こる状態を防衛機制の図にあてはめて考え、粘り強く欲求を抑制し、調整しながら目標達成を図る必要性を理解する。 生きることの意味についていろいろな視点から考え、今後の自分の生き方に生かす知識として身につける。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
	5	2章 人間としての自覚 ①ギリシャの思想 1-哲学の形成 2-ソクラテス 3-プラトン 4-アリストテレス 5-ギリシャ思想の展開	<ul style="list-style-type: none"> ギリシャの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、古代ギリシャの思想は、私たちにとってどのような意味を持つのかを考える。 ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどのようなものであるか、両者を比較しながら考察する。 「ソクラテスの言葉」から「よく生きることこそ大切である」という彼の信念を読み取る。 アリストテレスの現実主義の立場を、プラトンのイデア論と対比しながら理解する。 ポリス中心の考え方にかわり、個人の内的平安を求める思想が現れたことを理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
	6	②キリスト教 1-ユダヤ教の世界 2-イエス 3-キリスト教の発展	<ul style="list-style-type: none"> 世界で起こっている宗教を原因とする争いを調べ、宗教とは何かについて、意欲的に考察する。 哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを学ぶ。 イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。 キリスト教信仰の構造に関心を持ち、キリスト教的な生き方や人間観の特徴を、興味を持って探究する。 キリスト教が愛の宗教であるといわれるのはなぜかを多面的・多角的に考察する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
		③イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> イスラームはどのようにして誕生したか、ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか、ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解する。 メッカの方向を調べるなどして、イスラームの基本的教義(六信・五行)を実感する。 『クルアーン』を読み、日常生活で行うことまで規定していることを理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	6	④仏教 1ーインドの思想文化 2ーゴータマの教説 3ー仏教思想の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・インドの人々はどのような死生観を持っているかを理解する。 ・ゴータマの教えは、深い思索を続ける生き方そのものであることを理解する。 ・日本に最もなじみの深い宗教である仏教の教えを知り、仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかを考察する。 ・「ゴータマの言葉」を味わい、仏教の基本である、人間どうしが支え合いながら生きていくという視点を読み取る。 ・ゴータマが説いた縁起や四諦とは何かを理解する。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
	7	⑤中国の思想 1ー中国の思想文化 2ー儒家の思想 3ー道家の思想	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の人々の自然観・人生観を理解する。 ・陰陽五行や風水など、身近なものにも中国の思想との関わりがあることを知り、中国の思想に対する興味・関心を高める。 ・中国の思想は、歴史的に日本に最も大きな影響を与えたものであることを知り、私たちの現在や未来にどのような関わっているのかを考察する。 ・『論語』中の孔子の言葉から、中国の思想の根本を読み取る。 ・西洋と東洋の源流にある思想を比較して、人間の生き方について説いている内容の共通点と相違点を調べ、発表や討論をする。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
2	9	3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ①日本の風土と伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。 ・書籍や聞き取り調査などから日本の神話や伝承に関する諸資料を収集し、古代の日本人がどのような倫理意識を持っていたのかを理解する。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
		②外来思想の受容 1ー日本仏教の展開 2ー日本儒学の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。 ・法然、親鸞、一遍、栄西、道元、日蓮に関する資料を収集し、鎌倉仏教の各宗派の教義や特色を理解する。 ・日本人の価値意識と儒教との関連について理解し、正の部分、負の部分をとらえ検討する。 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
		③町人意識のめざめと庶民思想 1ー義理と人情 2ー国学の成立 3ー庶民の思想 4ー伝統思想の成熟	<ul style="list-style-type: none"> ・義理と人情、儉約と正直、勤労の倫理など、現代に流れる思想に対する興味・関心を高め、日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるかに気づく。 ・国学の思想と私たちの考え方で、共通するところ、異なるところ、共感するところなどを発表する。 ・義理と人情の観念、国学が提唱した人間尊重の思想、現代に流れる庶民思想は、どういうものかを理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査
10	④西洋思想との出会い 1ー幕末の思想 2ー明治の啓蒙思想 3ー日本社会とキリスト教 4ー近代的自我の確立 5ー社会思想の展開 6ー近代日本の思想課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末の思想の特質や、文明開化が日本の伝統社会にどのような変化をもたらしたかを把握する。 ・日本の近代思想がどのように展開していったかを理解する。 ・日本人のものの見方・考え方の中で、西洋思想の受容によって形成されたと考えられるものについて資料を収集し、国際社会に生きる日本人としての生き方・考え方をまとめる。 ・日本思想のまとめとして、国際社会に生きる日本人として、これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高め、今後の生き方について考える。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査 	
	4章 現代に生きる人間の倫理 ①人間の尊厳 1ールネサンスと宗教改革 2ー人間性の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。 ・現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考える。 ・先哲の思想の中から、人間の尊厳に関わる資料を収集し、活用する。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・単元テスト ・ノート提出 ・定期考査 	

年次	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	11	②近代の科学革命と自然観 1-近代の科学革命 2-経験論と合理論 3-近代科学と社会の進歩	<ul style="list-style-type: none"> 近代の科学はどのような背景から生まれてきたのかを理解する。 ベーコンやデカルトによる科学的な考え方の特色を理解し、科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。 ベーコンやデカルトの著作を読み、自然は人間の手によって操作できるとする新しい自然観をつかむ。 経験論と合理論の考え方の特色はどこにあるのかを、自己の課題とつなげて理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
		③自由で平等な社会の実現 1-社会契約の思想 2-人格の尊厳と自由—カント 3-人倫と自由の実現—ヘーゲル 4-功利主義の思想	<ul style="list-style-type: none"> 近代ヨーロッパの社会契約説を通して、民主社会の成り立ちを理解し、民主社会を実現した社会契約の思想について、多面的・多角的に考察する。 ホッブズ、ロック、ルソーに関する資料を収集し、社会契約の思想の違いを整理する。 現在の政治的自由は、ヨーロッパ近代の市民革命を基礎づけた思想家たちの考えに基づくことを理解する。 カントやヘーゲルの思索の内容を整理して理解する。 西洋近代の思想家たちは、自由の実現についてどのように考えたのか、多面的・多角的に考察する。 ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。 功利主義の思想からよく生きるとはどのようなことを理解し、自分自身の生き方につなげる。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
	12	④人間性の回復と主体性の確立 1-社会主義の思想 2-実存主義の思想 3-プラグマティズムの思想	<ul style="list-style-type: none"> 社会主義の生まれた背景とその発展過程、現代の社会主義について考察する。 実存主義が追究した生き方とはどのようなものかを理解する。 主体的なあり方は、努力を伴う生き方であることを、実存主義の思想から考察する。 略伝や図版を活用して、思想家の人生をたどりながら思想内容を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
3	1	⑤現代の思想と人間像 1-心の深層と無意識 2-生の哲学と現象学 3-近代的理性と言語 4-正義と社会 5-他者と偏見	<ul style="list-style-type: none"> 前節までの学習を踏まえ、現代の思想は、それまでの思想からどのような影響を受け、それらをどのように乗り越えようとしているかを考察する。 フロイトやレヴィー-ストロースらの著作を読み、現代の思想が発見したり注目したりしてきたものは何かを理解する。 ロールズ、センらの思想から、私たちは何を学ぶことができるかを考察し、これからの生き方につなげる。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
		⑥生命への畏敬と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> 実践された倫理を貫いた人々の生き方に対する興味・関心を高め、生命への畏敬や本当の愛とはどのようなものかを理解する。 さまざまな思想家の主張を振り返りながら、私たちの生き方はどのようなものであればよいのかを、多面的・多角的に考察する。 思想家の言葉から、自らの思想をそのままに生き、一生そのようにし続けた生き方をつかむ。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 単元テスト ノート提出 定期考査
2 3 月	5章 現代の諸課題と倫理	①生命の問題と倫理課題 1-生殖医療と遺伝子操作 2-脳死臓器移植と再生医療 3-自己決定の尊重と末期医療	<ul style="list-style-type: none"> クローン技術、遺伝子組換え、脳死臓器移植、安楽死と尊厳死、医療における自己決定権などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察する。 生命をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 レポート作成 発表 単元テスト 定期考査
		②環境の問題と倫理課題 1-有限な地球環境 2-生物多様性と自然との共生 3-予防原則と世代間倫理	<ul style="list-style-type: none"> 地球規模だけでなく、身近なところで起こっている環境問題について調べ、有限な資源を未来の世代にも配分するには何をすればよいか、環境倫理の考え方はどのようなものか、などについて考察する。 地球環境問題、環境保護活動、循環型社会をめざす取り組み、将来の世代に対する責任などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 レポート作成 発表 単元テスト 定期考査

年	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
3	2 3 月	③家族・地域社会と倫理課題 1ー少子化と男女共同参画社会 2ー高齢化と地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会の問題点を、家族の形態や地域社会はどのように変化してきたか、それらに期待される役割とはどういったものか、などについて考察する。 ・核家族化や少子化の進行に伴う家族関係の変容、男女共同参画時代の夫婦のあり方、高齢者と地域社会のあり方などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・家族・地域社会をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・単元テスト ・定期考査
		④情報社会と倫理課題 1ー情報の洪水と情報リテラシー 2ーネットワーク社会と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きていくために必要な能力、情報モラルに関する問題などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・高度情報化やネットワーク社会をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・単元テスト ・定期考査
		⑤宗教・文化と倫理課題 1ー宗教信仰への理解と現代世界 2ー異文化理解と多文化共生	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化を理解するためには、社会全体でどのような取り組みが必要かを考察する。 ・多様な外国人と交流する際の倫理的課題は何か、などのテーマから探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・グローバル化が進む現代において、異文化を理解するにあたり問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・単元テスト ・定期考査
		⑥国際平和と人類の福祉 1ー地球市民として 2ー平和な世界に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・各国間の経済格差の解消、自立を支援するための援助、難民や女性・子どもの人権保障、核兵器の廃絶など、人類全体の福祉実現に向けた取り組みを調べ、地球市民としての生き方を探究する。 ・頻発する地域紛争や民族紛争、難民問題、戦争と核兵器の廃絶の問題、などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・人類の福祉をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・単元テスト ・定期考査

令和5年度 郷土の歴史 シラバス

科目	郷土の歴史	単位	2	対象	普通科 3年生(E 選択)
目標	社会的事象における郷土の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のように育成することを目指す。				
教材等 教科書・	<ul style="list-style-type: none"> 教材：『新課程・高等学校歴史教科書 歴史総合と沖縄～探究心を育てるためのもう一つの眼差し～』 沖縄歴史教育研究会 				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 琉球・沖縄の歴史 琉球芸能 琉球・沖縄の伝統文化 琉球・沖縄の伝統行事 など 				
評価の方法	<p>以下の項目を総合的に判断して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 定期考査 勤怠状況、授業中の態度 板書ノート、課題プリント等の提出状況 授業中の発表など、意欲的に取り組む姿勢 				

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
郷土の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身に付けられている。	郷土の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が養われている。	郷土の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民としての自覚、我が国と郷土の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが深められている。